

## 会議議事録

会議名称	令和6年度第1回上里町総合教育会議
開催日時	令和6年10月29日(火) 午前9時00分～午前10時00分
開催場所	上里町役場3階 教育委員会・行政委員会室
出席者	構成員：山下町長、齊藤教育長、 高階教育委員、阿久戸教育委員、岸本教育委員、池田教育委員 関係課：教育総務課長、教育指導課長、生涯学習課長、総合政策課長 事務局：総合政策課
欠席者	なし
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 上里町教育大綱に関する実施状況について 4 意見交換 子どもたちの体力向上について 5 閉会
配布資料	○会議次第 ○上里町教育大綱【令和4年4月】 ○上里町総合教育会議設置及び運営に関する要綱 ○子どもたちの体力向上について

発言者	発言内容
町長 教育長	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p>
教育総務課長 教育指導課長 生涯学習課長	<p>3 報告事項</p> <p>上里町教育大綱に関する実施状況の報告 (各担当課が上里町教育大綱に関する事業の実施状況について説明)</p>
阿久戸教育委員	<p>4 意見交換</p> <p>子どもたちの体力向上について (総合政策課より第5次上里町総合振興計画後期基本計画における子どもたちの体力向上に関する記載及び令和5年度小中学校体力テストにおける県平均値との比較一覧について説明)</p>
教育指導課長	<p>この比較一覧に記載のある種目は小中学校の生徒すべてが実施するものなのか。例えば、学年によってやらない種目等はあるのか。</p>
池田教育委員	<p>小学校は持久走がなく、中学校は20mシャトルランがない。</p>
教育指導課長	<p>小学生女子のボール投げがほとんど平均値を超えているのには何か理由があるのか。</p>
生涯学習課長	<p>1年生からドッジボールは高学年との交流会を実施している。そういうものが影響しているのかもしれないが、はっきりとは分からぬ。</p> <p>現在、西武ライオンズの連携拠点として、ベースボールチャレンジを実施している。今年は3・4年生が対象となっており、2年間で5小学校を回っている。プロの選手による分かりやすい投げ方等の指導を実施しているのも一部寄与しているかもしれない。</p>

教育指導課長	ちなみに、朝の短い時間に実施する体育やマラソンなどの業前体育については、今現在実施していない。理由としては、教員の勤務時間前における授業準備が必要であり、働き方改革の関係からなくした経緯がある。
高階教育委員	(業前体育は) 他の市町村でもやっていないのか。
教育指導課長	県内では他市町村でもやめているところは多い。
	なお、町として、体力向上推進委員会の方針を今年度より大きく変えたため、令和6年度の数値としてはかなり向上する予定となっている。令和5年度はコロナ禍明けということもあったが、ここ最近で最も悪い数値となっている。県全体の平均値としても落ちているが、そもそも平均値を上回っている種目数が減少している状況。
	昔は、日本体育女子大学の指導のもと、体力テストの正確な計り方やストレッチを教えてもらっていた。現在はそれがなく、しっかり指導ができていない。対策として、今年度については教育委員会がすべての学校を回り、体力テストに係る指導を実施した。
	また、上里町は前年度まで、体力テストを1日で測定していた。他市町村では、体育の授業の中で体力テストの練習と本番を別日に分けて実施しているところが多く、今年度上里町でもその様に実施した。練習がなく、本番での一発勝負となってしまうと、やはり数値的には落ちてしまう傾向にある。
	令和7年度からは、中学校の体育教員が小学校へ行き指導をするという形式をとっていく。これだけでかなり変わってくると思われる。
	ただ、やはり町だけでなく、県全体として体力は落ちていると痛感している。そこで、議論していただきたいのは、子どもたちの運動離れである。運動と学力にはある程度の関連性があると感じているが、そこも含めて対策を考えていきたい。
高階教育委員	上里町の中学校における運動部と文化部の入部割合はどのような感じなのか。
教育指導課長	現状では運動部の方がが多い。ちなみに、令和に入ってからは部活に入らない生徒の割合が増えてきていると感じている。
高階教育委員	部活動への入部は希望制なのか。

教育指導課長	<p>現在はそうなっている。</p> <p>また、部活動も地域移行の傾向があり、〇〇クラブや〇〇館といったように、学校をとびこえてクラブチームをつくっているところが多くなっている。現在では、そういったチームが中学校体育連盟の大会へ出場することが可能となっており、クラブチームに加入している生徒は部活に入部をしない。こういった流れにより、中学校単位での県大会等への出場が難しくなってきていているところもある。</p>
高階教育委員	県も国もそういった流れなのか。
教育指導課長	<p>その傾向にある。</p> <p>ちなみに、上里中学校では放課後に全校生徒で体育を実施する、「全校体育」という取組を実施している。</p>
高階委員委員	部活動未加入者の割合はどのくらいなのか。
教育指導課長	10%程度だと思われる。
岸本教育委員	<p>体力テストの結果を見ると、持久力がなさそうに感じる。集中力は運動から学ぶ部分もあると思う。なお、上里町は体育的な部分で、他市町村と何か違うところはあるのか。</p>
教育指導課長	<p>持久力に関しては確かに集中力と通じている部分はあると感じている。</p> <p>他市町村との違いという部分では回答が難しいが、体力テストの結果については、各学校への指導でかなり改善していくと思われる。</p> <p>なお、現在は握力が低下している傾向にある。休み時間に鉄棒や雲梯、上り棒で遊ぶ子も減ってきてているように感じている。</p>
岸本教育委員	体育では鉄棒はやるのか
教育指導課長	体育ではしっかりと指導している。
池田教育委員	休み時間に関して言えば、遊具についても危険だということで撤去されてしまっているところも増えているように感じる。

高階教育委員	町の中でも、公園内で壊れたままの遊具が直されずそのままになっているところもある。
議長（町長）	町の公園遊具については、修繕や改修工事を順次実施していく。 なお、有名な書籍においても、体を鍛えることは脳を鍛えることにもつながるという記載がある。持久力を鍛えることは忍耐力につながるなど、スポーツから学ぶことは多いと考えているため、町としても子どもたちの体力づくりには真剣に取り組んでいきたい。
岸本教育委員	コロナ禍を経て、外で走り回る子どもたちは増えてきたが、屋内での所作として、例えば雑巾を絞るなど、今ではそこまで日常的ではなくなった動作が体力の向上に一部寄与している部分もあると思われることから、日常生活の中で意識すべきことの内容も大事になってきていると思う。 また、町の体力テストにも参加したが、シャトルランでは、若い子が先に脱落しており、町民の全体的な体力が落ちてきているように感じた。群馬には大きい公園があり、日常的に子どもたちだけでなく、大人も運動できる環境が豊富に感じる。そういう点においても、上里町で今後検討していってほしいと思う。
議長（町長）	子どもの体力づくりに取り組むことは、歳を取っても丈夫な体づくりへと繋がり、ひいては将来的な医療費にも影響してくる。町としても、将来を見据え、子どもたちの体力づくりにしっかりと取り組んでいく必要があると考えているため、今後も皆様と活発な議論をしていきたい。
事務局	5 閉会

署名欄

町長	山下博一
教育委員会 教育長	齊藤雅男